

別表2-1：「臨床実践能力の指標（全体）」

レベル		レベルⅠ「新人」	レベルⅡ「一人前」	レベルⅢ「中堅」	レベルⅣ「達人」
目標		内視鏡検査・治療に伴う基本的な看護を助言や支援を得ながら実践できる	内視鏡検査・治療に伴う個別的な看護を自立して実践できる	内視鏡検査・治療に伴う看護を総合的に判断でき根拠に基づいた看護実践ができる	内視鏡検査・治療に求められる、新しい知識・技術を持ち、多様なアプローチによる創造的な看護が実践できる
看護実践能力	知識	<p>一般的・基本的知識の活用ができる</p> <p>①バイタルサイン・検査データなどの正常値がわかる</p> <p>②消化器の解剖・生理、主な疾患の病態・生理がわかる</p> <p>③看護についての基本的知識を理解している</p> <p>④主に身体的側面の知識が活用できる</p>	<p>専門的領域における知識が深まり活用できる</p> <p>①バイタルサイン・検査データの正常値がわからない内視鏡検査に活用できる</p> <p>②疾病特有の病理が理解できる</p> <p>③身体的・心理的側面の知識が活用できる</p>	<p>状況に合わせて理論的知識を追加し活用できる</p> <p>①対象の現在の状態・病状の理解に幅広い知識を統合し活用できる</p> <p>②身体的・心理的・社会的知識を総合し応用できる</p> <p>③社会資源に関する知識を対象のQOLに結び付けて活用できる</p>	<p>①多領域にわたる理論的知識・実践的知識を総合し、発展的に活用できる</p> <p>②さまざまな知識を活用し状況を総合的に見ることができる</p> <p>③看護実践から学んだことをさらに学習し発展させることができる</p>
	実践的知識	<p>ガイドラインの活用ができる</p> <p>①直面した状況から学習できる</p> <p>②直面した状況の関連性の結びつけができる</p> <p>③収集したデータが対象の何を意味しているかを理解し活用できる</p> <p>④収集したデータや身体上の変化を観察し、報告できる</p>	<p>実践的知識がより多く活用できる</p> <p>①以前経験した事例が応用できる</p> <p>②状況が知識と関連付けられ観察のポイントが明確になる</p> <p>③収集したデータを実践の場で活用できる</p>	<p>理論的知識と合間って深められ活用できる</p> <p>①事例を通して多くのことを学べる</p> <p>②一連の流れを通して対象の今後の課題が明確になる</p> <p>③得られたデータから看護過程を踏まえて活用できる</p>	
	判断	<p>①断片的だが状況把握ができる</p> <p>②状況は変化するものとして捉えられる</p> <p>③助言を得ながら優先順位の決定ができる</p> <p>④対象の身体状況の全体を注目することができる</p> <p>⑤対象の心理的負担が理解できる</p>	<p>①多方面から状況把握ができる</p> <p>②類似した状況や予測していなかった出来事にはスピードや柔軟性に欠けるが経験に基づき判断し対応できる</p> <p>③対象の身体的側面にとどまらず心理的・社会的側面にも着目し捉えることができる</p> <p>④対象との心理的距離が縮まり対象に共感し寄り添うことができる</p> <p>⑤対象の言動に影響されず、言動を起こした原因を分析することができる</p>	<p>①状況を全体として捉え変化予測が図れる</p> <p>②対象を包括的に捉える</p> <p>③状況判断をするにあたり、先の見通しを考慮した優先順位を考慮することができる</p> <p>④対象の外面的側面（家族・キーパーソン・教育背景・社会的役割など）に目を向けられ社会的状況を汲み取れる</p> <p>⑤対象の内的側面（性格特性・杆状・価値観など）に関心を払い配慮することができる</p> <p>⑥状況に関わる対象が抱えるであろう心理的側面においても支援できる</p>	<p>①状況の全体を瞬時に直観的に捉える</p> <p>②状況判断と行動が同時に進行できる</p> <p>③その場その場で瞬時に何が優先すべきか判断し選択できる</p> <p>④あらゆる側面から対象を捉えた判断ができる</p> <p>⑤起こりうる全ての問題に多面的に対応できる</p> <p>⑥枠にとらわれず対象そのものを自然に捉えられる</p>
行為	<p>①対象のニーズに関心を持つとすることができる</p> <p>②指導を受けることによって、対象のニーズにあわせることができる</p> <p>③融通性やスピードに欠けるが指示を受けながら偶発的な出来事に対応できる</p> <p>④対象及び家族に実施しようとする行為について説明し同意を得て実践できる</p> <p>⑤自分の責任を明確にするために対象に担当であることを伝えている</p> <p>⑥助言を得ながら自分の行為を振り返ることができる</p> <p>⑦行為をすることで内視鏡看護師として満足感を得ることができる</p>	<p>①対象の反応からニーズを把握し行動できる</p> <p>②経験の中から選択できる行為をいくつか持っておりその中から選択できる</p> <p>③判断したことが行動に移せる</p> <p>④融通性やスピードには欠けるが経験の中から偶発的な出来事に対応できる</p> <p>⑤対象者や部署内において良好なコミュニケーションが取れる</p>	<p>①対象が気付いているニーズを把握できる</p> <p>②選択できる行為を多く持ち迷わず実施できる</p> <p>③対象のニーズに合わせて工夫できる</p> <p>④判断と同時に行動がとれる</p> <p>⑤偶発的な出来事に対して速やかに対応できる</p> <p>⑥円滑で対象に合わせたコミュニケーションがとれる</p> <p>⑦効果的な方法で問題解決できる</p>	<p>①対象の潜在的ニーズにも速やかに対応できる</p> <p>②瞬時に安全を優先した判断・行動がとれる</p> <p>③偶発的な出来事に対して速やかに対応しつつ派生する問題を予測できる</p> <p>④状況に合わせて臨機応変に問題解決していける</p>	

別表2-2：「臨床実践能力の指標（全体）」

レベル		レベルⅠ「新人」	レベルⅡ「一人前」	レベルⅢ「中堅」	レベルⅣ「達人」
マネージメント能力		<ul style="list-style-type: none"> <li>①内視鏡室の概要・看護目標・体制について理解できる</li> <li>②内視鏡室の部署目標達成の為に活動に参加できる</li> <li>③内視鏡室の環境・物品について気付いたことがあれば報告できる</li> <li>④部署における経済的側面を知り注意を払うことができる</li> <li>⑤カンファレンスに参加できる</li> <li>⑥チームメンバーとしての役割を理解し行動できる</li> <li>⑦内枝教室の安全な検査環境が提供できる</li> <li>⑧緊急時は指導を受けながら対応できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①内視鏡室の特殊性・業務内容を理解した行動がとれる</li> <li>②内視鏡室の目的・目標を理解し達成のための活動に積極的に協力できる</li> <li>③内視鏡室の環境・物品管理に配慮し行動できる</li> <li>④日常の業務の中で経済的側面を配慮した行動がとれる</li> <li>⑤日々の看護においてリーダーシップが発揮できる</li> <li>⑥緊急時の判断ができ、報告・相談しながら対処できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①内視鏡室の特殊性・業務内容を理解し、看護業務改善にむけて建設的な意見を延べることができる</li> <li>②内視鏡室の目的・目標を達成するための活動を推進し達成度の評価に参加できる</li> <li>③内視鏡室の物品管理システムを効率よく活用できる</li> <li>④物品管理システムを理解し経済的な側面より見直すことができる</li> <li>⑤状況に応じたリーダーシップが発揮できる</li> <li>⑥緊急事態を把握し、指示・行動が取れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①内枝教室の看護業務改善に向けて提案し調整できる</li> <li>②内視鏡室の方針が検討できる</li> <li>③内視鏡室の問題を発見し解決の為に方策を考えることができる</li> <li>④内視鏡室の経済性について関心を持ち、経済効率を考えた行動がとれ結果が評価できる</li> <li>⑤内視鏡カンファレンスや委員会・会議の推進役になれる</li> <li>⑥内視鏡看護の質の向上を図るためにリーダーシップが発揮できる</li> <li>⑦緊急時、影響を最小限に押さえるための行動が取れる</li> </ul>
人間関係調整能力		<ul style="list-style-type: none"> <li>①患者・家族の話を関心を持って聴くことができる</li> <li>②患者・家族に分かりやすく適切な方法で説明できる</li> <li>③医療チームの中で意思疎通を図り、協働できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①患者・家族の以降を正確に把握できる</li> <li>②患者・家族の希望や医師を尊重した対応ができる</li> <li>③医療チームの中で自分の意見が言え、積極的なコミュニケーションが取れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①患者・家族の医師を尊重しながら自己決定に積極的に関わることができる</li> <li>②患者・家族を中心とする医療チームの中で調整役割をとることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①コミュニケーションが困難な患者・家族に対しても信頼関係を築き、保持することができる</li> <li>②患者・家族を中心とする医療チームを構成し組織内外の調整ができる</li> <li>③医療チームとはアサーティブに関わり良好な人間関係を築くことができる</li> </ul>
教育・研究能力	自己	<ul style="list-style-type: none"> <li>①部署の勉強会で学習できる</li> <li>②院内の教育プログラムに沿って学習できる</li> <li>③社会人・職業人としての常識的な態度が理解できる</li> <li>④事故の学習ニーズに沿って自己学習できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自己の学習ニーズを明確にし学習目標を設定して学習する</li> <li>②院内教育に積極的に参加できる</li> <li>③専門分野において患者ケアに応用できる文献学習ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自己の能力開発のためのプログラムを自分で探して積極的に参加しその結果を実践に活用することができる</li> <li>②社会人・職業人としてのすぐれた態度・行動が日常を通して身につけている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自己の能力開発のためのプログラムに積極的に参加するだけでなく、事故啓発にも前向きである</li> <li>②社会人・職業人として自己研鑽し能力の向上を図れる</li> </ul>
	他者	<ul style="list-style-type: none"> <li>①患者ケアに関わる体験を同僚と共有できる</li> <li>②受けた教育の内容を同僚と共有できる</li> <li>③部署での学習ニーズを理解し企画に参加できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①経験未熟なスタッフに対して必要な知識と技術の指導ができる</li> <li>②指導の結果を評価できる</li> <li>③各看護単位の学習ニーズを理解しそれを満たすための計画に自主的に参加できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①専門知識を活用し内視鏡看護師の指導的役割がとれる</li> <li>②各看護単位の教育プログラムに参加し指導者としての役割がとれる</li> <li>③看護単位の学習ニーズを査定しその企画に参加し教育的役割がとれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①患者ケアや内視鏡室の方針に沿ったスタッフの育成ができる</li> <li>②スタッフの能力開発・人間性の成長を支援することができる</li> <li>③看護単位の看護能力を評価し能力を向上させていくための支援や指導の役割がとれる</li> </ul>
	患者	<ul style="list-style-type: none"> <li>①決められたマニュアルに沿って指導・教育ができる</li> <li>②質問や問題点に対しては助言を得ながら実施できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①対象のレディネスをアセスメントし相手に合わせた個別的な指導・教育ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①対象の状況を踏まえながら予測性や計画性を持った指導・教育ができる</li> <li>②指導結果を評価し次に生かすことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①既存あるいはオリジナルの資料を使用し効果的な指導・教育ができる</li> <li>②社会資源を活用し指導・教育できる</li> </ul>

研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>①内視鏡室の業務改善や研究活動を知っている</li> <li>②院内外の研究発表会や学会などに参加する</li> <li>③部署の共同演者として、研究に参加できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①研究的な取り組みやチームの一員として参加し協力することにより研究プロセスが体験的に学べる</li> <li>②所属する学会活動に自主的に参加し、学んだことを臨床に生かせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①看護研究や研究的な取り組みを計画しスタッフとともに実践することができる</li> <li>②研究的な取り組みを実践し看護の専門性を深めることができる</li> <li>③研究的な取り組みの結果を発表できる</li> <li>④研究的な取り組みを行うことで問題解決ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①看護研究を進め院内外に広めることができる</li> <li>②専門分野における研究を行い看護の質の向上を図ることができる</li> <li>③看護研究を臨床で応用できる</li> <li>④研究を通して後輩の育成ができる</li> <li>⑤研究成果を誌上发表できる</li> </ul>
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------